

環境映像祭 in 金沢

金沢まちなか自然学校特別企画

主催：国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

共催：金沢市、アース・ビジョン組織委員会

後援：石川県、財団法人森林文化協会 後援予定：外務省、文部科学省

10/4(日) 10:00-17:30

金沢21世紀美術館 1Fレクチャー・ホール

定員：90名（入場自由）

言語：日本語（字幕又は吹き替え）

参加無料

Environmental Film Festival in Kanazawa

11/14(土) 13:30-16:00

金沢市文化ホール 大会議室

定員：100名（事前申込制）

言語：日本語・英語（同時通訳あり）

参加無料

※参加をご希望の方は、「環境映像祭 in 金沢、11月14日参加希望」と明記し、
お名前、ご連絡先（①電話番号、②住所またはEmailアドレス）を
11月12日（木）までに下記FAX番号またはEmailアドレス宛にお送りください。

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

FAX：076-224-2271

Email：unu-iasouik@ias.unu.edu

10/4 4 October 2009, Sunday
(日)

映像には、人の心を揺り動かす力があります。

理屈ではなく、感覚に訴え、感情を呼び覚ます、そんな魅力があります。

今回の「環境映像祭 in 金沢」では、普段、研究や政策の言葉で語られることの多い環境問題を、より身近に感じていただくために、世界各国から多様なジャンルの映像作品を紹介し、その映像の持つ力を通じて、身の回りの世界を新たなまなざしで見直すきっかけを作り出したいと考えています。

上映作品を通して、天然資源やグローバルな環境問題と日々の生活との密接なつながりを知り、またそのような映像が映し出す自然の驚異を感じていただけたらと願っています。



午前の部 10:00-12:00

 日本語
吹き替え

 日本語

 英語字幕

開会挨拶: 秋元雄史氏 (金沢21世紀美術館館長)

環境教育映像上映

1 タイガの子／A Son of Taiga

(ドイツ／監督: アンドレアス・フォークト／2006年／29分／第16回子どもアース・ビジョン大賞)

2 恵みの雨／Rainwater Harvesting

(インド／監督: ナンディア・ダース／2003年／2分／第13回アース・ビジョン賞)

3 やっかい払い／Good Riddance

(オーストラリア／監督: ニック・ヒリゴス／2006年／10分／第12回アース・ビジョン賞)

4 潮のささやき／Once Upon a Tide

(アメリカ／監督: ドリュー・タカハシ／2007年／10分／第17回子どもアース・ビジョン賞)

5 無心／No Mind

(日本／監督: 足袋拔豪／2009年／5分)

午後の部 13:00-14:30

国連大学メディアスタジオ制作映像上映

1 先住民族の視点から見た気候変動

UNU's Indigenous Perspectives of Climate Change
videobrief series

(国連大学メディアスタジオ／監督: キット・ウィリアムズ／2008-2009年／35分)

2 里山・里海映像／Satoyama Satoumi UNU videobriefs

(国連大学メディアスタジオ／監督: ブランド・かおり／2009年／12分)

特別試写会

15:00-17:30

「こつなぎ一山を巡る百年物語」

(日本／監督:中村一夫／2009年／120分)

岩手県小繋村、生きるとは何か？ 土や山はだれのものか？

「入会い」に支えられた昭和30年代の山里の暮らしが、画面に蘇る。撮影開始以来、半世紀を経て完成したドキュメンタリー映画。

コメンテーター: 轡田隆史氏 (ジャーナリスト)

あん・まくどなると (国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)

聞き手: 藤原勇彦氏 (森林文化協会常務理事)

轡田隆史氏 プロフィール

1936年生まれ。朝日新聞社会部デスク、論説委員。8年間、夕刊「素粒子」担当。テレビ朝日系「ニュースステーション」「スーパーJチャンネル」のコメンテーターやNHK・FM「日曜喫茶室」などで活躍。日本ペンクラブ会員。「考える力」をつける本(三笠書房)など著書多数。

“見つめる、
驚く、変わる”

The background of the entire page is a black and white photograph of wheat stalks, showing the grain and the long awns. The stalks are dense and fill the frame, creating a textured, organic background.

11/14

14 November 2009, Saturday
(土)

今回上映するサリー・イングルトン監督の「シード・ハンター」は、抽象的に語られがちな環境問題やその相関関係を一つの興味深い物語へと織り上げた作品です。「種の多様性の保全」というテーマを中心にこの作品が描き出す問題点は、今、国際的にも注目が集まっています。本年12月に、デンマークのコペンハーゲンで開催される「国連気候変動枠組条約第15回締約国会議」や、来年10月に名古屋市で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議」などでも主要な議題の一つとなるでしょう。

作品上映後には、映像やメディアが環境問題や環境教育に果たす役割について、映像制作者の視点で議論するパネルディスカッションを開催します。

11/14(土) 13:30-16:00

日本 日本語字幕

English 英語

挨拶: 森源二氏 (金沢市副市長)

1 作品上映 (アース・ビジョン第17回地球環境映像祭最優秀賞受賞作品)

「シード・ハンター／Seed Hunter」 English 日本

(オーストラリア／監督: サリー・イングルトン／2008年／53分)

2 サリー・イングルトン監督との
Q&Aセッション 同時通訳

3 パネルディスカッション
「環境意識と映像の力」 同時通訳

パネリスト サリー・イングルトン氏 (「シード・ハンター」監督)

村田真一氏 (NHKチーフプロデューサー、ドキュメンタリー映画「里山」制作統括)

キット・ウィリアムズ氏 (国連大学メディアスタジオ監督)

モデレーター あん・まくだなど (国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)

サリー・イングルトン氏 プロフィール

オーストラリアの映像制作会社「360 Degree Films」共同経営者、監督。自然科学、人文科学、歴史、社会問題を専門とし、BBC、チャンネル4、ディスカバリー、ABCテレビ、SBSテレビ、NHKなどのドキュメンタリー番組を制作。2003年「湧りゆく海—グレートバリアリーフの生と死」で、アース・ビジョン第12回地球環境映像祭審査委員特別受賞など、ドキュメンタリー作品の制作、監督で受賞多数。

会場

10/4
(日)

金沢21世紀美術館
石川県金沢市広坂1丁目2番1号
☎076-220-2800 / <http://www.kanazawa21.jp/>

11/14
(土)

金沢市文化ホール
石川県金沢市高岡町15番1号
☎076-223-1221 / <http://www.bunka-h.gr.jp/>

ご来場の際には、環境へ配慮しなるべく公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします

お問い合わせ先

国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
金沢市広坂2-1-1 石川県広坂庁舎2階
TEL : 076-224-2266 / FAX : 076-224-2271
Email : unu-iasouik@ias.unu.edu

国連大学高等研究所 <http://www.ias.unu.edu>
国連大学メディアスタジオ <http://mediastudio.unu.edu/en/>
アース・ビジョン組織委員会 <http://www.earth-vision.jp>